

《課題名》

母乳育児の実態調査

《研究対象者》

2018年04月01日から2020年09月30日の期間中に、当院において分娩した母体と出生した乳児

研究協力をお願い

この研究は、対象となる方の当院で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接説明して同意は頂かずにこのお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解頂きますようお願い申し上げます。

この研究への情報提供を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：母乳育児の実態調査

研究期間：承認日～2022年03月31日

研究機関・実施責任者：東近江総合医療センター 小児科 田中克典

(2) 研究の意義、目的について

母乳育児は母児ともに恩恵をもたらすだけでなく、社会全体にも大きな利益をもたらすことが近年注目されています。母乳育児の重要性は世界中で強く支持され、WHO (World Health Organization) と UNICEF (United Nation Children's Fund) は「母乳育児を成功させるための10か条」を提言し、本邦でもこれに沿って母乳育児支援を行っています。生後早期に母乳育児を開始することなどが推奨されていますが、本邦において母乳育児の実態については報告が少なく、母乳育児がどの程度達成されているかなど知見は乏しいです。本研究では、生後早期に母乳育児を開始するまでの時間を調査するとともに母乳育児を妨げる因子を明らかにするために後方視的観察研究を行い、効率よく適切な母乳育児支援につなげることを目的とします。

(3) 研究の方法について

当院の電子カルテ情報から、患者基本情報（性別、年齢、体格、妊娠出産歴、在胎週数、Apgar score、嗜好歴、合併症・基礎疾患等）、臨床検査値（血算、血液像、pH等）、分娩・出生情報（分娩様式、分娩時間・手術時間、出血量、胎盤・臍帯、新生児蘇生状況等）、治療・指導内容（薬剤・母乳育児指導など）、母乳の摂取状況、人工粉乳の摂取状況などを調

査します。それらの情報により、生後早期に母乳育児が開始するまでの時間および母乳育児を妨げる因子について評価を行います。

(4) 個人情報の取り扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会・研究会発表、学術雑誌等で公表します。

(6) 研究計画書等の入手または閲覧

本研究の対象となる方は、ご希望される場合は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用または提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止することができます。停止を求められる場合は、下記にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

東近江総合医療センター 小児科 田中克典

住所：滋賀県東近江市五智町 255 番地

電話番号：0748-22-3030